

ディジットグラスの越冬性・収量性およびサイレージの嗜好性

【目的】

暖地型イネ科牧草ディジットグラス品種「プレミア」の越冬性と収量性を調査し、多年利用の可能性を探るとともに、サイレージの嗜好性を明らかにする。



表1. 2006年造成圃場における各草種の越冬率.

草種	越冬率 (%)					
	長崎県 畜産試験場		北松浦郡鹿 町町		五島市 三井楽町	
	2007年	2008年	2007年	2008年	2007年	2008年
ディジットグラス	98.4	91.9	98.4	91.6	100.0	97.3
矮性ネピアグラス	100.0	95.4	93.8	85.0	97.0	95.5
スーダングラス	0.7	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0

1) 越冬率 = 越冬株数 / 植え付け株数 × 100.

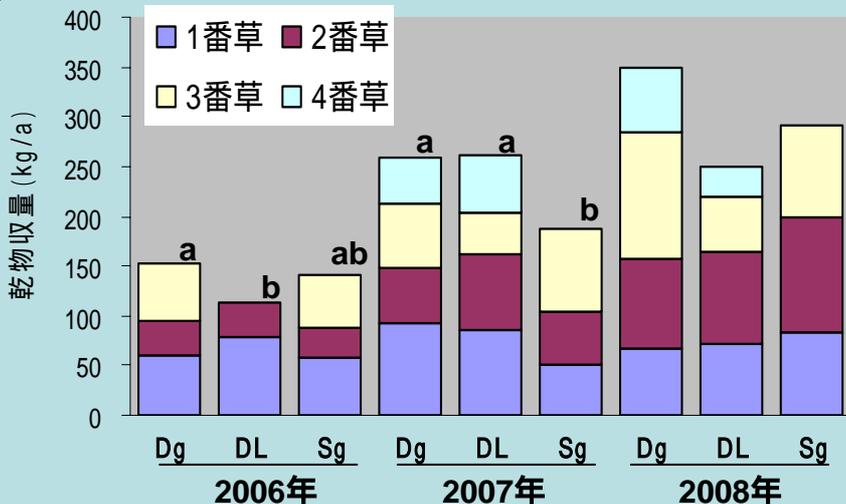


図1. 造成1年目～3年目の乾物収量.

- 1) Dg: ディジットグラス, DL: 矮性ネピアグラス, Sg: スーダングラス
- 2) スーダングラスは越冬しなかったため2007年6月6日および2008年5月20日に再移植した.
- 3) 異なるアルファベットは同年の草種間に5%水準で有意差があることを示す.

表2. サイレージの採食量.

採食量 (DM kg/2hour)	
ディジットグラス	3.98 ^a
スーダングラス	2.80 ^b

注) a-b間に1%水準で有意差あり.

ディジットグラスは寒冷な条件の地域でも造成3年目にして80%以上の高い越冬性を持ち、収量性もスーダングラスと同等。また、サイレージの嗜好性はスーダングラスよりも優れており、長崎県における有望な草種である。